

平成二十一年度一般会計予算外二件両院協議会

(1) 協議概観

平成21年1月19日国会に提出された平成二十一年度総予算3案は、2月27日衆議院で可決されたものの、3月27日参議院で否決された。衆参両議院の議決が異なったため、衆議院から両院協議会を求められ、同日の本会議において、院議を構成した会派である民主、共産、社民の各会派から協議委員を選任した。

協議委員は直ちに両院協議会参議院協議委員議長及び副議長互選会を開き、議長に北澤俊美君を、副議長に石井一君を互選した。

両院協議会においては、まず、くじによる抽せんの結果、衆議院側の衛藤征士郎協議委

員議長が協議会議長となった。その後、両院における議決の趣旨説明が行われ、その後各協議委員から種々意見が述べられ、最後に、参議院側を代表して石井一協議委員から、また、衆議院側を代表して田野瀬良太郎協議委員から、それぞれ締めくくりの発言が行われたものの、成案を得るに至らず、その旨各議院に報告することとなった。

両院協議会の後、衆参両議院の本会議において両院協議会の経過及び結果について各議院の協議委員議長からそれぞれ報告が行われた。その結果、平成二十一年度総予算3案は、憲法第60条第2項の規定により、衆議院の議決が国会の議決となった。

(2) 協議経過

○平成21年3月27日（金）（第1回）

- ・成案を得なかった。

(3) 平成二十一年度一般会計予算外二件両院協議会参議院協議委員議長報告

平成二十一年度一般会計予算外二件両院協議会の経過及び結果について御報告申し上げます。

本院協議委員は、先ほどの本会議におきまして、議長より指名されました後、直ちに協議委員議長及び副議長の互選を行い、その結果、協議委員議長に私、北澤俊美が、副議長に石井一君がそれぞれ選任されました。

なお、衆議院におきましては、衛藤征士郎君が協議委員議長に、鈴木恒夫君が副議長に選任されました。

両院協議会の初会の議長はくじにより決することとなっておりますので、開会に先立ち抽せんを行いました結果、衆議院側協議委員議長の衛藤征士郎君が議長に当選されました。

協議会におきましては、衆議院側から、国民生活の不安を解消する措置がなされていること、成長力の強化・地域の活力向上に取り組んでいること、無駄の排除を徹底し、歳出改革に取り組んでいること等の理由で原案どおり可決した旨の説明があり、次に、本院側から、本予算は現下の極めて厳しい経済情勢に対応していないこと、財政民主主義に反する多額の経済緊急対応予備費が計上

されていること、基礎年金国庫負担引上げの財源を特別会計の積立金に依存していること等の理由により、否決した旨の説明がありました。

次に、協議に移りましたところ、各協議委員から種々の意見が述べられましたが、平成二十一年度一般会計予算外二件両院協議会は、意見の一致を見るに至らず、成案が得られませんでした。

なお、本両院協議会の議事録は公開することとし、また、今後の両院協議会の在り方については、その開催方法、構成、人数、議事の進め方、採決の在り方等の運営、議事録の公開等について、これまでの在り方を踏まえつつ、建設的な方向で検討し、速やかに結論を得ること、以上、各院の議長に御報告を申し上げることについて合意をいたしました。

以上、御報告を申し上げます。

(4) 協議表

案 件	請求議院	請求の理由	請求日	本 院 協議委員 選挙日	両 院 協議会 開会日	成案の議決		備 考
						参議院	衆議院	
平成二十一年度一般会計予算外二件	衆議院	両議院議決不一致	21. 3. 27	21. 3. 27	21. 3. 27	協議会において成案を得なかった		憲法第60条第2項により衆議院の議決が国会の議決となった

(5) 協議委員

議 長	北澤	俊美 (民主)	自見	庄三郎 (民主)	大門	実紀史 (共産)
副議長	石井	一 (民主)	前川	清成 (民主)	近藤	正道 (社民)
	犬塚	直史 (民主)	峰崎	直樹 (民主)		
	小林	正夫 (民主)	森	ゆうこ (民主)		